

令和7年度 延岡青朋高等学校 総合評価（通信制課程）

『評価』は4段階の数値で行う。（4：十分達成されている 3：ほぼ達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない）

重点 目標	具体的な方策（P）	結果と課題（D）	自己評価 （C）		改善策（A）	学校関係者評価		コメント		
			項目別	総合		評価				
						項目別	総合			
1 基礎 学力 の 確 実 な 定 着	①生徒の実態を踏まえた教育課程の検討 ・多様化する生徒に対応できる教育課程の編成 ・学校設定科目の開講を継続させ、学び直しのできる科目を設定する ・カリキュラムマネジメントを確実に実行	生徒の興味・関心や進路希望に応じた選択の幅を確保し、多様化する学びに対応できた。基礎的内容の学び直しが可能となる学校設定科目を適切に配置し、生徒の学習保障ができた。	3	3.0	●スクーリング:指導内容の再確認、ICTの活用 ●レポート:内容の充実及び正確な添削と評価	3.2	3.7	・高校卒業を目指す者にとっての最後の拠り所が通信制課程ではないかと思う。そのような生徒達に対し、真摯に向き合い手をかけていただいていると感じる。		
	②レポート管理の徹底 ・レポート受付を確実に 行い、各教科の添削指導が滞りなく行えるようにする	レポートの提出状況を正確に把握することで、添削指導が円滑に行えるようになった。	3		●生徒への連絡手段の工夫 ・改善			3.9	・通信制でありながら、学校に出てきて勉強を教わっている生徒をよく見かけるし、また先生方がよく指導をされている。	
	③単位修得率の向上 ・添削指導・面接指導の方法を絶えず見直し、通信制教育の質の向上を実現する	添削業務等の自動化を実現させた。速やかに返却できるようになり、学習意欲の喚起につながった。	3		●基礎的環境整備の改善			3.9	・多様な背景をもつ生徒に対応すべく取り組まれていると思います。 ・レポートの添削については先生方には本当に感謝しかありません。 ・校務を自動化、簡略化していくことは働き方改革の面からも大事であろう。	
	④スクーリング出席状況の把握 ・生徒の登校状況をスクーリングカードで把握し、学習進度表を配付することで、生徒と教師との状況確認を的確にする	スクーリングカードを活用して出席状況を把握し、PC入力で受験資格の判定を自動化した。学習進度表を適切な時期に配付することで、生徒自身が学習状況を確認できた。	3		●生徒状況の把握と適切な指導 ●全職員の細やかな指導体制			3.8	3.8	・効率化の先にある生徒への有益な部分が見えていて素晴らしい。 ・生徒の状況については各先生との連絡報告を密として生徒の為に頑張ってもらいたいと思います。 ・機械またはパソコン、アプリ等で自動化できる事は先生方の業務軽減につながり、長時間勤務低減、職場改善につながると感じます。また生徒への指導、職員同士の情報交換ができていく様子がうかがえます。
2 社会性を身に付けた生徒の育成 生徒の実態把握と情報共有	①規範意識や礼法・マナーの醸成	・全職員による継続的な指導	3	3.0	●全職員による常時指導の充実	3.0	3.1	・スクーリングのわずかな時間での指導になるので徹底は難しいかもしれないが、続けることが大事なのではないかと思う。		
	②道徳教育・人権教育の充実	・生徒理解、いじめ、セクハラ等のアンケート実施 ・人権教育の充実	3		●LHRの計画と充実			3.3	・挨拶、礼法、マナーは引き続き継続をお願いいたします。 ・常にいじめ問題はあると感じています。丁寧な言葉使い、相手を思う指導を今後もお願いします。	
	③環境美化意識の向上	・全職員による巡回指導や持ち帰りの呼びかけ	3		●学校行事における積極的な生徒の参加			3.0	・先生方は大変だと思いますが、継続的な指導が大切だと思います。 ・とにかく生徒の出席。難しい問題ですが保護者にも出席する日を教えてほしいと思います。	
	④生徒が抱える特性や課題等の情報収集	・教育相談担当を中心に教福連携会議や研修会への参加	3		●教福連携の推進 ●外部研修会への参加推進（不登校・ヤングケアラー等）			3.3	・特別支援に関わる情報は日進月歩なので、常に新しい研修が必要であると思う。外部専門機関との連携をさらに強め、研修を重ねて行って欲しい。	
	⑤生徒理解・支援の促進のために全職員で情報共有及び共通理解の推進	・特別支援委員会の定期開催 ・職員研修の実施 ・合理的配慮の実践	3		●職員研修、特別支援委員会の充実			3.3	・生徒の数だけ多くの事例があると思います。生徒、家族、先生がきっかけとなり、生徒自身の口から言える、話せる場、（親が同席しない場合もあると思います。）外部専門機関との連携をたえず行う、仕組みと連携を継続してお願いします。	
	⑥外部専門機関との連携を行い多様な生徒への対応に努める	・SSWとの連携 ・外部機関との密な連絡体制	3		●配慮を要する生徒への対応（合意形成、家庭との連携） ●チャレンジスクールの更なる充実			3.3	3.4	・生徒が不安なく学ぶことができる体制維持に期待します。 ・チャレンジスクールに全員出席してほしいです。
	⑦自己肯定感・自尊感情の醸成（LHR、チャレンジスクールでのSSWの展開）	・学校行事、生徒会活動、チャレンジスクール等の生徒の変容	3					3.7	・チャレンジスクールなど特徴のある取組が評価できる。これからも継続して行ってほしい。	

健康教育・保健安全教育の推進	⑧部活動の活性及び在り方の検討 ＜成果＞ ・県定通大会 バドミントン部 男子優勝(1名) 女子準優勝(1名) 柔道部 男子優勝(2名) 女子優勝(1名)	・全国定通大会 バドミントン部 男子ベスト16(1名) 女子1回戦敗退(1名) 柔道部 男子ベスト8(1名) 女子全国3位(1名)	3	3.0	●部活動への積極的な支援	3.7	3.4	・部活動にも取り組み、全国大会でもよい成績を残しており素晴らしい。 ・先生方のご指導、生徒の目標設定、やる気が優勝及び全国大会への結果だと感じます。今後も生徒への技術指導、体力向上、継続指導をお願いします。				
	⑨健康・安全教育の推進 ⑩健康診断受診率向上 ⑪健康に関する自己管理能力の醸成 ⑫LHRの実践(喫煙・飲酒・薬物等について)	・薬物乱用防止教室、健康講話、避難訓練等の実施	3		●外部機関との連携(学校医・警察・消防等) ●LHRの計画と充実			3.0	・県定通体育大会も定時制との合同となると思います。(生徒数の減少)同じ延岡青朋高校として頑張っしてほしいと思います。 ・青少年の薬物乱用が広がっています。継続した指導をお願いします。 ・近年薬物の高校生の使用、所持をよく耳にするようになった。以前にも増して防止教室、講話などが必要とされていると感じる			
	進路指導の充実	①キャリア教育の充実 ・進路LHR、校内進路ガイダンス、進路講話の充実 ②進路意識の高揚 ・進路関係の情報収集と提供 ・進路相談の充実 ③就職・進学面接技能の向上 ・志望理由書の作成指導と面接指導の充実 ・職員の面接指導の資質向上 ④進路実現能力の育成 ・インターネットの活用 の推進 ・関係機関との連携 ⑤学習指導の充実 ・テスト前学習会、進学支援学習会、校外模試の実施	・校内行事は計画通り実施 ・「大学及び企業見学」を新規で実施した。 ・進路ガイダンスの開催時期、申し込み方法の見直しを行い、参加者が生徒42名、保護者12名と増加した。 ・全職員による面接、作文、小論文、過去問指導の実施 ・GoogleClassroomを活用した進路情報の提供 ・ハローワークやヤングjobサポート、就職支援エリアコーディネーター等との連携。 ・テスト前学習会の実施 ・大学進学支援学習会、対外模試受験の実施。		4 3 3 3 4			3.4	●後期に進路講演会を計画 ●大学及び企業見学の継続 ●進路情報のWebによる提供の推進 ●進路ガイダンスの継続 ●職員向け進路研修の充実 ●進路指導に向けた資料の整備 ●進学支援学習会や、対外模試等を利用した1年次生からの継続的な進学指導	4.0 3.9 3.3 3.7 3.3 4.0	3.7	・進路ガイダンスの参加者数が増加したことは高く評価できます。 ・引き続き充実した進路指導を継続をお願いします。 ・進路ガイダンス、見直しによる参加者の増加、良いと思います。 ・全職員で面接、作文指導等を行われているのは素晴らしい。大変かと思うが今後も是非続けて欲しい。 ・通信制からでもぜひとも頑張っしてほしいと思います。先生方よろしく願いいたします。
環境整備と危機管理体制の確立	①施設・設備の点検 ・校内安全点検の実施	・年2回の校内安全点検の結果を基に適切に対応	4	3.8	●継続して校内の基礎的環境整備及び風通しの良い職場環境作り	4.0 4.0 4.0 4.0 3.7 4.0	3.9		3.9			・近年様々なインフラの老朽化による事故が多発しています。常時点検的な意識が求められているのかも知れません。 ・設備、環境、危機管理、どれも生活していく上で必要なため、命を守る行為、助ける行為、日々の防災意識と環境、設備を知ることで、いざという時に役に立つことだと思います、継続して点検/訓練をお願いします。 ・防災対策が校内だけでなく、市や地域と連携して取り組まれていることは高く評価できます。 ・出席が少なく、コンプライアンス、情報収集が難しいと思いますが、保護者も協力してほしいと思います。 ・本校以外でのスクーリングもあり、防災面での対応はなかなか難しい面もあるかと思いますが、今までの大災害を教訓とした備えをお願いしたい。 ・職員の方々の心の面についても学校で話し合っしてほしいです。
	②コンプライアンスの遵守	・職員研修、アンケート等の実施 *情報収集、県教委との連携	4		●継続して生徒・保護者・地域の信頼に因るためにコンプライアンスの遵守							
	③情報セキュリティ対策	・ICT推進リーダーを中心に、県の指導の下、適切に対応。	4		●防災対策で地域との連携と災害時の校内対応の確認							
	④防災対策マニュアルの更新	・マニュアルの更新と延岡市との連携 *防災教育の実施	4		●働き方改革の推進							
	⑤緊急避難時の対応	・延岡市との連携 ・避難訓練の実施 ・ベンチかまど設置(延岡工業高作成)	3									
	⑥職員の健康管理	・健康診断、ストレスチェックの実施	4									